

公共交通サービスの拡充に関するアンケート結果



高齢化が進む川西市で「公共交通サービスの拡充」を求める住民のみなさんの意向を掌握する一環として、アンケート調査を行いました。みなさんのご協力によりたくさんの貴重なご意見をいただき心より感謝しています。なお、今回の調査は、鉄道最寄り駅に遠く、路線バスの利用ができない地域や不便の声が大きい地域、約5000世帯を対象に行いました。

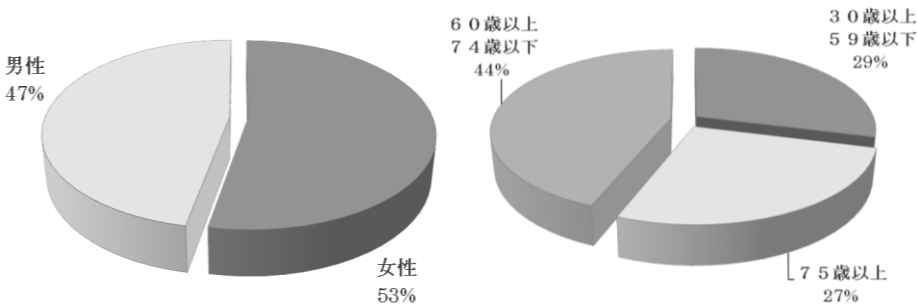
アンケート結果から見てきたみなさんの意向は、今後の要求運動の土台となるものです。

日本共産党川西議員団は、2013年度からスタートする「第5次川西市総合計画」の5年以内目標とする「川西市公共交通基本計画」に反映させ、生活交通確保の早期実現を目指し、みなさんと一緒に、力を合わせがんばりたいと考えています。今後共よろしくお願いたします。

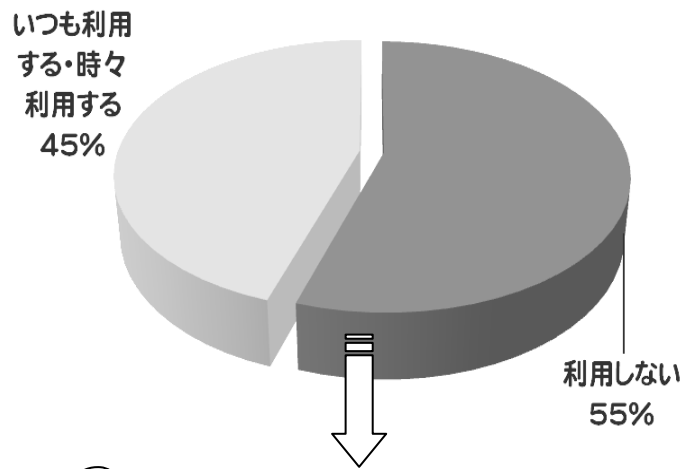
(※公共交通基本計画→検討委員会が市の基幹公共交通軸や地域内公共交通のあり方を含め検討し作ります)

アンケート結果にみる住民のみなさんの願い

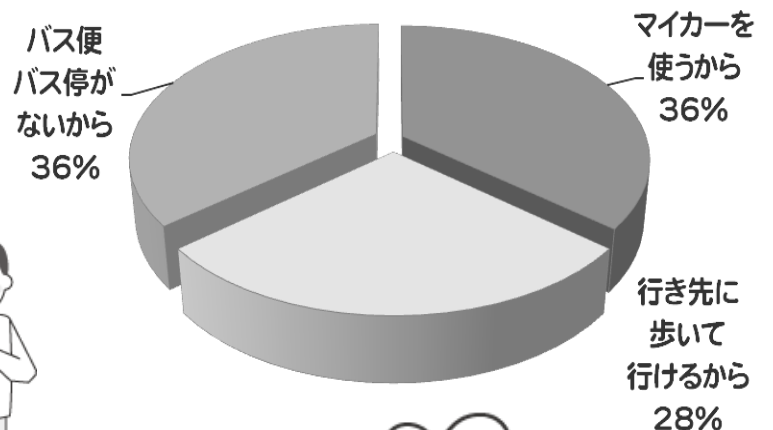
- ❖実施日 : 2012年 夏
- ❖回収枚数 : 212枚



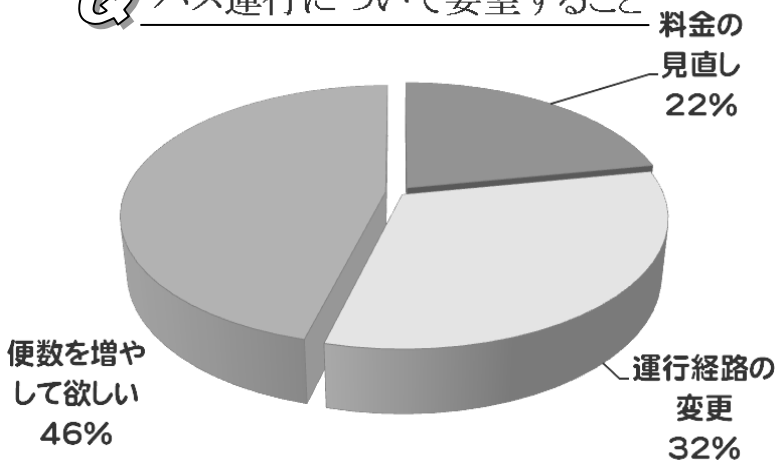
Q 市内バスを利用していますか



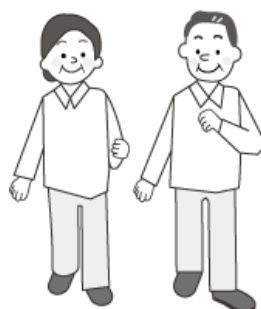
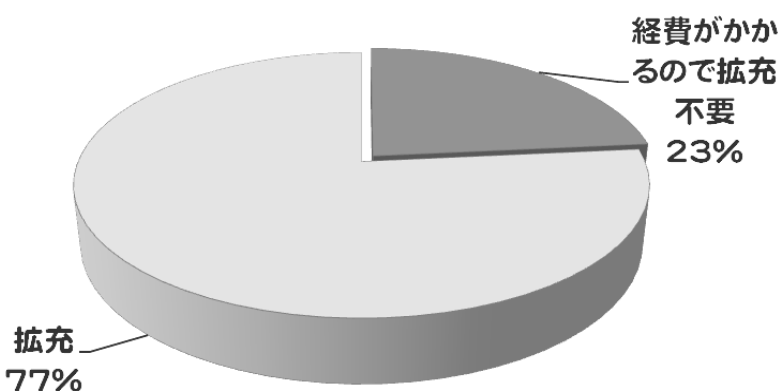
Q 市内バスを利用しない理由



Q バス運行について要望すること



Q 今後の交通サービスについて



日本共産党
川西市議員団
二ノコース外

発行
日本共産党
川西市議員団

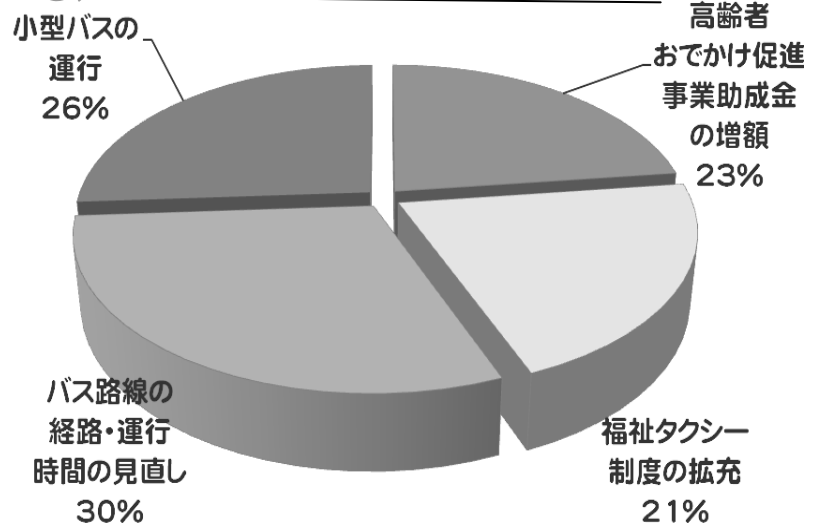
市役所控室
〒740-1111
内線4020
議員団直通
FAX759-1811

市議団
住田由之輔
Tel・fax 759-4541
黒田 みち
Tel・fax 790-3055
北野のり子
Tel・fax 793-9515

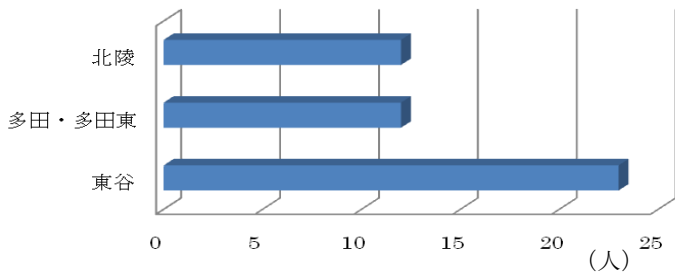




Q 公共交通サービスの望ましい方向

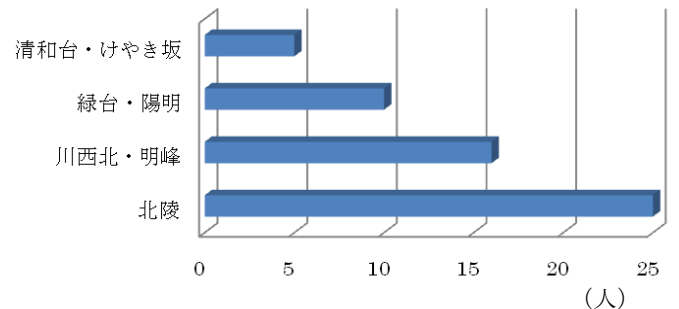


「小型バスの運行」要望が多い小学校区

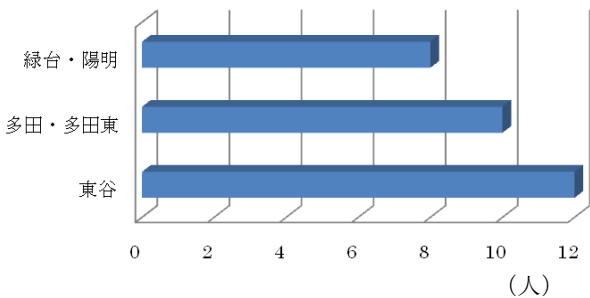


・北陵校区では、具体的な要望が多い。
 ・東谷中学校への「通学バス」への要望がある。
 ・清和台・けやき坂では、「乗り継ぎ料金割引」への要望が強い。

「バス路線の経路・運行時間の見直し」要望が多い小学校区

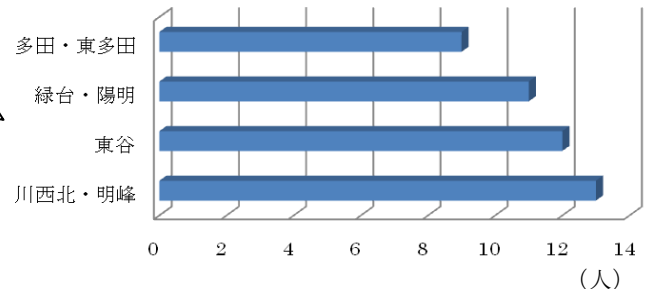


「福祉タクシー制度の拡充」要望が多い小学校区



・特に東谷、緑が丘地域が強く要求している。

「高齢者おでかけ促進事業助成金増額」要望が多い小学校区



・地域格差があるものの全市域的な要望がある。
 ・特に多田東、東谷北摂台地域が強く要求している。

*みなさんから寄せられたご意見・ご感想



◎アンケートからの step へ

- ・伏見台行きをカリヨン経由にし、便数増やして。日生駅発の最終時刻遅くして。深山池公園から東に回る小学校前への径路を。東谷中学校行きの便を。日生駅から川西病院行き循環バスを【北陵】
- ・乗り継ぎ料金割引制を(清和台へ乗り継いでゆくと510円も)、けやき坂4丁目の奥の居住地までの径路を【けやき坂】
- ・能勢口行きを増やして、グリーンハイツ・川西病院行きが不便【明峰】
- ・バス料金が高すぎる【北陵・清和台・北・明峰・緑台・向陽台・けやき坂】
- ・能勢口行きのバス路線を【多田・緑台・水明台】
- ・山下・畦野駅や川西病院への小型巡回バス運行を。急な坂道を駅まで歩いて25分、なんとかバスを走らせて。北陵高校付近までのバス運行を。車がなくても生活出来るように【緑が丘・山原】
- ・坂がきつく歩けない、病院・買い物に行くバス便がほしい【北摂台】
- ・鼓が滝付近は急な坂が多いので小さなバス運行を。まず狭く危険な道の整備を【多田東】
- ・バスの拡充よりタクシー制度の充実を。高齢者にはタクシーを安い料金で利用できる制度を。タクシーでは近いと嫌な顔され頼みにくい【北摂台】
- ・女性・高齢者・身障者向けの福祉、乗合いタクシーを走らせて【多田東】

- (1) 普通・中・小型のバス運行が可能な地域、道路事情等で不可能な地域があります。バス運行が不可能な地域は、福祉タクシーや乗り合いタクシー制度、あるいはタクシー利用助成券交付という福祉的側面の強い制度が望まれています。地域限定は困難ですが、対象者の広がりに応じた財政措置が必要です。
- (2) 市内バス運行は、採算がとれる路線はすでに民間バス会社が運行しています。不採算路線を運行する場合、経費と料金収入との差額は公費負担とする等、予算確保が必要です。制度、運用の仕方や住民の利用頻度によって「公費」負担を変える必要があり、公共交通機関を積極的に利用することが大切です。
- (3) 「公共交通サービスの拡充」は、市の財政措置が必要。市は、2013年度から「川西市公共交通基本計画」作りを進めます。当該地域の住民のみなさんが、声をあげ要求運動に取り組むことが大きな力になります。

